

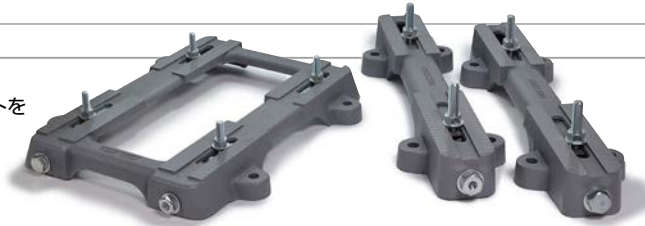
ベルト伝動用のモータベース。引張用・調整用の各ボルトを操作することで、ベルトに張力を付与します。

● 調整作業が簡単

1方向からの操作で、ベルトの張力付与・除荷作業が可能。
狭い装置側からの作業が不要です。
モータの傾きや移動量がわかる目盛りつき。

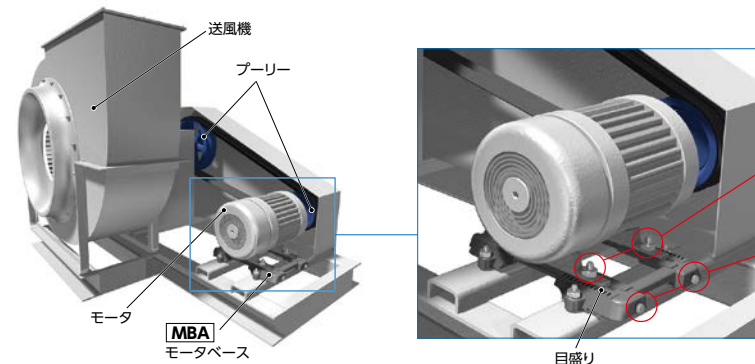
● コンパクト

引張用・調整用の各ボルトは本体に収納されるため、飛び出しません。
安全でコンパクトな構造です。



● モータの設置が容易

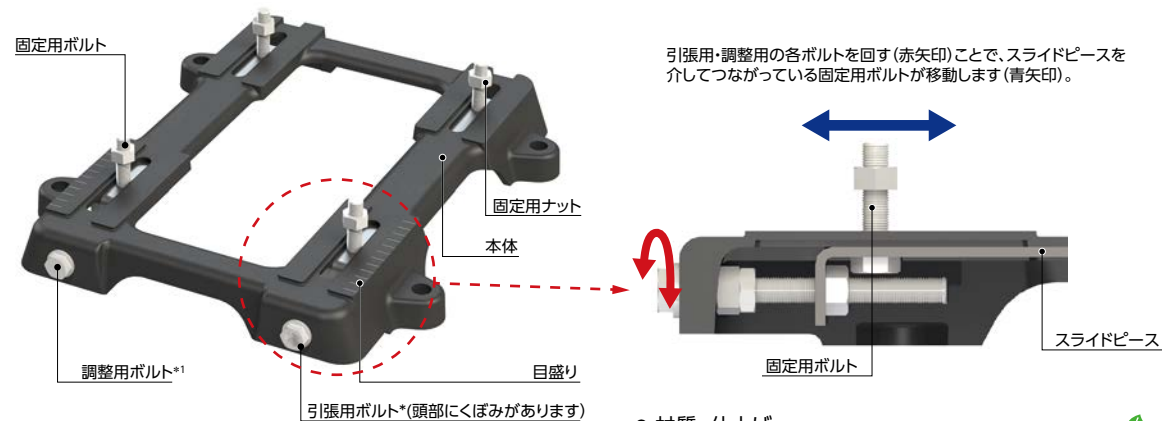
固定用ボルトが本体から突き出しているため、モータ設置の際に、モータベースの固定用ボルトとモータの取り付け穴の位置合わせが容易です。



固定用ボルトが突き出しているためモータを設置する際の位置合わせが容易。

作業スペースが確保できる1方向からの操作で作業が可能。
目盛りつきのため、モータの移動量も確認できます。

構造



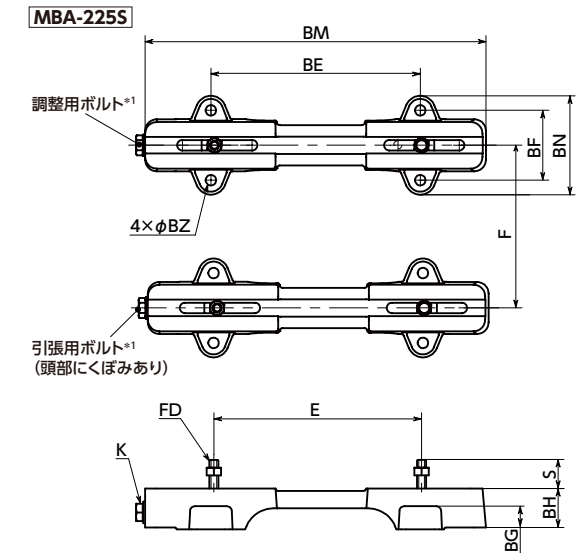
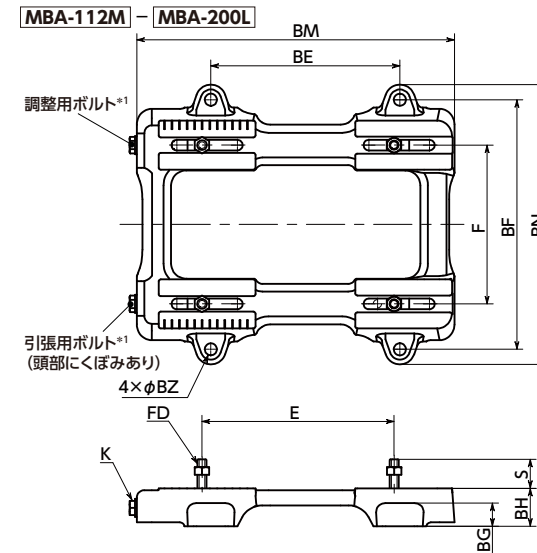
*1: **MBA-L** は、引張用ボルトと調整用ボルトの位置が入れ替わります。



● 材質・仕上げ



	MBA
本体	ねずみ鉄 塗装(灰色)
スライドピース	SS400 三価クロメート処理
固定用ボルト	スチール 三価クロメート処理
引張用ボルト	スチール 三価クロメート処理
調整用ボルト	スチール 三価クロメート処理
ナット・平座金 (各ボルトに付属しています)	スチール 三価クロメート処理



*1: **MBA-L** は、引張用ボルトと調整用ボルトの位置が入れ替わります。

寸法

MBA 引張用・調整用ボルトの位置: 上記寸法図の通り **MBA-L** 引張用・調整用ボルトの位置: 上記寸法図の逆

単位: mm

品番	品番	F	E	BF	BE	BM	BN	BH	BZ	BG	FD	S	K	質量(kg)
MBA-112M	MBA-112M-L	140	190	230	190	308	263	40	φ13	20	M10	29.5	M10	3.5
MBA-132S	MBA-132S-L	140	216	240	220	357	270	45	φ13	23	M10	29.5	M12	4.4
MBA-132M	MBA-132M-L	178	216	280	220	357	310	45	φ13	23	M10	29.5	M12	4.5
MBA-160M	MBA-160M-L	210	254	330	250	420	370	50	φ16	25	M12	38.5	M12	5.8
MBA-160L	MBA-160L-L	254	254	370	250	420	410	50	φ16	25	M12	38.5	M12	6.2
MBA-180M	MBA-180M-L	241	279	370	280	477	420	55	φ16	28	M12	43	M16	7.9
MBA-180L	MBA-180L-L	279	279	410	280	477	460	55	φ16	28	M12	43	M16	8.4
MBA-200L	MBA-200L-L	305	318	460	320	544	516	60	φ18	35	M16	51	M16	13.1
MBA-225S		(286)	356	120	360	586	170	70	φ18	35	M16	52	M20	20.6

●モータベースの寸法は、JIS C 4210 - 2001「一般用低圧三相かご形誘導電動機」、JIS C 4212 - 2000「高効率低圧三相かご形誘導電動機」およびJIS C 4213 - 2014「低圧三相かご形誘導電動機 一低圧トッランナーモータ」の寸法に合わせています。(X寸法およびBZ寸法はJISと異なります。)

● 適用モータ出力

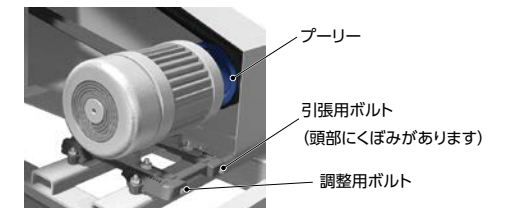
単位: kW

全閉型				品番	
2種	4種	6種	8種		
3.7	3.7	2.2	1.5	MBA-112M	MBA-112M-L
5.5	5.5	3.7	2.2	MBA-132S	MBA-132S-L
-	7.5	5.5	3.7	MBA-132M	MBA-132M-L
-	11	7.5	5.5	MBA-160M	MBA-160M-L
-	15	11	7.5	MBA-160L	MBA-160L-L
-	18.5	15	11	MBA-180M	MBA-180M-L
-	22	15	11	MBA-180L	MBA-180L-L
-	30	18.5	15	MBA-180L	MBA-180L-L
-	37	30	18.5	MBA-200L	MBA-200L-L
-	45	37	22	MBA-200L	MBA-200L-L
-	55	45	30	MBA-225S	-

⚠ 使用上の注意

引張用ボルトの位置はプーリー側にしてください。

MBA の場合、下図のようになります。**MBA-L** は引張用ボルトと調整用ボルトの位置が入れ替わります。

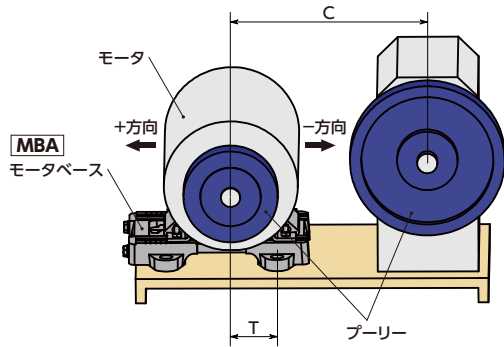


● 品番指定 ※価格・納期はNBKウェブサイトをご覧ください。

MBA-160M

モータベースの推奨取り付け位置

モータの設置位置Cを決定したのち、モータの軸心に対してモータベースの取付穴を下記表、T寸法を参考に加工してください。



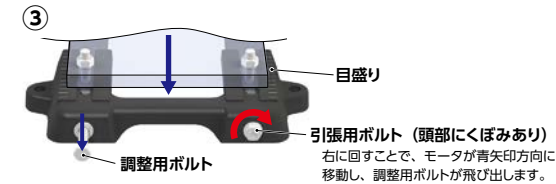
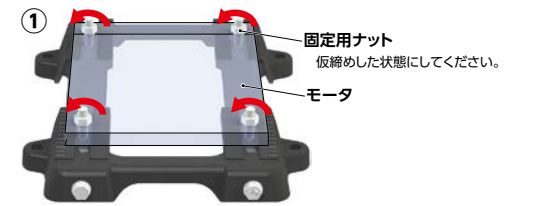
単位: mm

品番	T	移動可能量	
		+方向	-方向
MBA-112M	85	20	20
MBA-132S	100	25	25
MBA-132M	100	25	25
MBA-160M	113	40	25
MBA-160L	113	40	25
MBA-180M	125	45	25
MBA-180L	130	40	30
MBA-200L	142	55	30
MBA-225S	136	50	25

ベルト張力の調整手順

● ベルトの取り付け (張力付与)

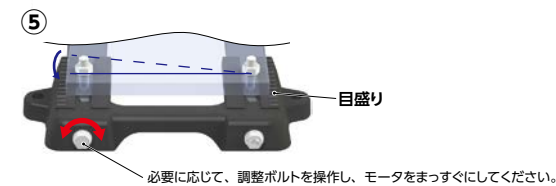
- ①モータベースおよびプーリーのアライメントを調整し、固定用ナットを仮締めしてください。
- ②プーリーにベルトを掛けてください。この時、モータが傾いた場合は①の作業からやり直してください。
- ③引張用ボルト (頭にくぼみのあるボルト) を右に回してください。モータが青矢印方向に移動し、ベルトに張力を付与します。その際、調整用ボルトも同時に飛び出します。
- ④飛び出した調整用ボルトを右に回して、座面が本体に軽く接するまで引込ませてください。
- ⑤必要に応じて、調整用ボルトをさらに右に回し、モータの姿勢をまっすぐにしてください。
- ⑥固定用ナットを締めつけ、モータを固定してください。



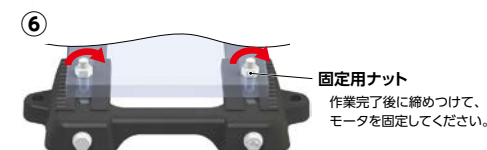
- ⚠ 電動工具の使用は、モータが目盛りの範囲内にある場合に限定してください。
⚠ 誤って調整用ボルトを締めつけないでください。



- ⚠ 調整用ボルトを無理に締めこまないでください。

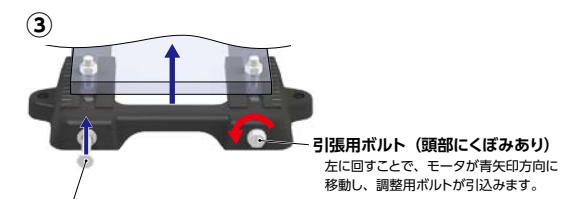
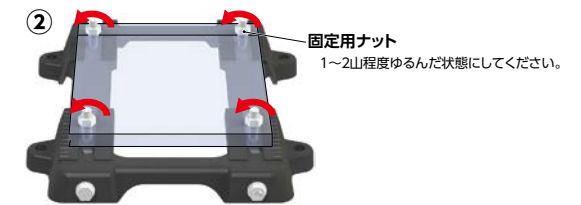
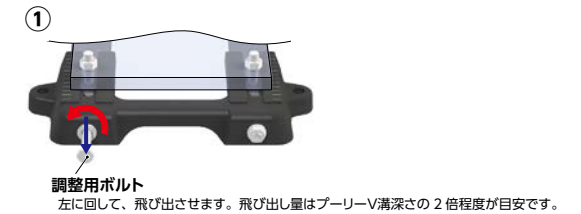


- ⚠ 調整作業では電動工具を使用しないでください。



● ベルトの取りはずし (張力除荷)

- ①調整用ボルトを左に回して飛び出させてください。飛び出し量はプーリーV溝深さの2倍程度が目安です。調整ボルトが飛び出した分だけ作業③でモータを移動させることができます。
- ②固定用ナットを軽くゆるめてください。
- ③引張用ボルトを左に回してください。モータが青矢印方向に移動し、ベルトの張力が除荷されます。その際、飛び出した調整用ボルトが引込んでいきます。調整用ボルトの飛び出しがなくなり、モータが移動できなくなった場合は、作業②に戻ってください。



- ⚠ 電動工具の使用は、モータが目盛りの範囲内にある場合に限定してください。

- ⚠ 作業中に、振動等でモータを固定するナット (固定用ナット) が締まり、モータを移動させることができなくなることがあります。その際は、固定用ナットをゆるめ、操作したボルトを反対方向に回転させて、動きが軽くなったことを確認してから作業を続けてください。